

平成29年度1／四半期「ひとり1改善運動」表彰内容一覧

団体表彰3件

区分	表 彰 内 容
改善	水質事故の連絡を受けた際、すぐに関係機関へ連絡し、現地から本庁等の待機職員に連絡票の作成を依頼することで、速やかな被害防止対応と業務の効率化を図った。
改善	養豚ゾーンへの入場者ごとに防護服かけを設置、長靴をサイズごとにロッカーへ収納、汚水ホースを乾燥させる際に滑車を利用して高所に干すといった改善を実施し、安全面や衛生面の確保を図った。
改善	定年退職を迎える保健師から後輩職員へ、県職員人生の振り返りとアドバイスを行う学習会を開き、職員の資質の向上を図った。

個人表彰 7件

区分	表 彰 内 容
提案	新規採用職員等の提出書類は、出勤初日の事務手続きを円滑に行うために、原則、すべて事前提出又は事前記入を行うこととし、書類作成に必要なものをあらかじめ周知する。
改善	終業予定時刻を印字したものを始業時にパソコンに掲げ、職場内で共有することで、労働生産性の向上を図った。
改善	業務に関係する書類の所在を記したマップを課員全員の協力により作成し、保管場所の情報を共有することで業務の効率化を図った。
提案	自動車税の案内等について、定期課税時期である5月中は、県HPのトップページにリンクを貼り、問い合わせ別の連絡先、住所変更届についての情報を載せ、手続きを簡便にする。
改善	検査問診票の英訳版や検査の流れの説明用紙の作成により、外国の方や聴覚障がいの方が受検しやすくなり、県民サービスの向上につながった。
提案	補助金交付決定と額の決定の際の事務処理の一本化と、予算令達に係る歳出予算指令書の出納員への回議を廃止し、業務の効率化を図る。
提案	業務時間外の外部からの電話に対応できない場合は、県民の方を長時間待たせないように、閉庁アナウンスを自動で流す機器を設置する。

改善・・・職場や仕事の中で自ら取り組んだ改善内容やこれまでの改善事例をブラッシュアップした改善内容

提案・・・職場や仕事の中で気づいた点や研究した成果等を基にした事務改善等に関する意見・提案